

2023年11月30日 第2543回例会
11月第4例会

RI会長テーマ: Create Hope in the World
「世界に希望を生み出そう」

本年度会長テーマ Build FUTURE
「50年の過去に感謝し、50年先の未来を築こう」

「ロータリー財団月間」

◆ 会長時間 ◆

諏訪(浩)会長

【資本主義のほころびとロータリーの誕生】
ロータリーは自己教育運動です。



何かを理解しようとするとき、その歴史的背景を知るとはとても有効です。ロータリーは1905年に創設されましたが、それに至るまでどんな歴史があったのでしょうか。

1861年から65年にかけてアメリカでは南北戦争が勃発しました。この、国を二分する混乱のすぐ後、それまでめざましい発展をしてきた資本主義経済はアメリカで「独占」という段階に入りました。持つ者と持たない者との格差、持つ者は更に裕福になり、持たない者はさらに貧乏になる。この悪循環が社会の大きな問題となっていました。

また、当時は、ヨーロッパで主流だった古い思想に変わるものとして、ダーウィンの「進化論」とマルクスの「社会主義」が台頭してきましたが、資本主義の発展途上にあったアメリカで受け入れられたのは、もちろん社会主義ではなく「進化論」でした。「進化論」は、まるで先ほど申し上げた独占体制を支持するかのよう「適者生存」を唱えていましたが、これが単なる生物学の分野を超えてアメリカの社会全体に取り入れられ、アメリカ社会全体が「適者生存」を肯定する世の中になっていったのです。

そんなわけで、1905年、ロータリー創設の年、

シカゴに降り立った若い弁護士ポール・ハリスが見た景色は、「適者生存」が肯定された資本主義経済のなれの果てでした。酒、賭博で乱れ、道徳レベルは低く、利口な者が弱者を蹴落として一攫千金を狙う。そして一握りの資本家が政治経済の主導権を握り私腹を肥やす。商業的な倫理は全く存在しない。まさに資本主義が欠陥を露呈した時代です。

このようなシカゴでロータリーを創設したポール・ハリスが、ふるさとニューイングランドで養った、友愛と相互扶助の精神をロータリーの基礎にしたのは、もっともなことだと思います。いわばロータリーは、資本主義のほころびで狂った当時のアメリカにとって、大きな救済だったと言えます。

こうした歴史をふり返ると、先々週申し上げた「プラグマティズム」の影響で、とにかく効果が高い大規模奉仕の実践を重視するようになったロータリーですが、そのロータリーの先達が何十年もかけて確立させ、資本主義の矛盾を救済したロータリー思想は、依然として「適者生存」を基本とする、私たちが生きている、この資本主義社会においても必ず救済となり得ます。奉仕の実践や奉仕の規模だけに注力するのではなく、自己教育によってロータリー思想をしっかりと身につけ、人に優しくする心をエネルギーにして奉仕を実践することこそが、草の根的に世の中を救済するロータリアンの矜持ではないでしょうか。

● 会務報告 吉田(大)幹事

※ 年末年始の他クラブ例会変更一覧を配布しておりますので、ご確認ください。

● 委員会報告

※ プログラム・出席委員会

出席報告 南條副委員長

本日(11月30日・木曜日)

会員数 90名 出席者 72名

欠席者 18名 ご来客 0名

ご来賓 1名 ゲスト 0名

計 73名

4週前の例会2023年10月26日・木曜日

出席率 100%



※ 青少年・インターアクト委員会 中岡委員長

2023-24年度 ロータリー青少年指導者養成プログラム
(Rotary Youth Leadership Awards) (RYLA)

開催のご案内

今年度は「～青少年は平和達成のために何ができるか～」をテーマに開催(広島南RC担当)されます。G7サミットが開催されたその広島の地で次世代を担う青少年が集い、ディスカッションや全体討論などで交流を図りながら、グループで行動し、リーダーシップや平和達成のために何ができるかを考えていきます。

今年度は江田島で2泊3日の日程で行われます。多くの青少年及びロータリアンをご推薦いただきますようよろしくお願い申し上げます。

※ 地域・環境委員会 瀬崎委員長



「インクルーシブブランコ」寄贈

11月28日、広島市西部子ども療育センター「なぎさ園」にて「インクルーシブブランコ」の寄贈贈呈式を行いました。

インクルーシブブランコとは、姿勢を保持するための背もたれと固定具が設置されたブランコのことをいい、一般的なブランコの利用が困難な子どもも安心して利用することができます。

今回の寄贈を機に、なぎさ園の園児たちの遊びに対する意識や積極性が高まり、療育環境の質がより一層向上することを期待しています。



● 同好会報告

※ 紫友会 川村世話人

11月25日(土)、芸南カントリークラブにて第5回紫友会例会を開催いたしました。

優勝はOUT34 IN41 グロス75 ハンディキャップ6.3 ネット68.7で見事西原君が勝ち取られました。準優勝は中岡君、3位は土井(隆)君、ブービー賞は梶本君でした。バスグロは75の西原君、シニアの部優勝も西原君でした。



今回は毎年恒例となっております広島西南RCと廿日市RCとの3ロータリー懇親ゴルフコンペが同時開催されました。

上位入賞は、準優勝に長谷川(剛)君、3位に田島君、団体戦では西RCが昨年に続き見事優勝を飾りました。

次回例会は12月9日(土)、鈴が峰ゴルフ倶楽部鈴が峰コースで開催いたします。同日開催の忘年会とあわせ、早めの出欠回答をいただければ幸いです。よろしくお願いいたします。



紫雀会 鈴木世話人

紫雀会11月例会が、11月16日(木)午後6時より立町の麻雀マックで行われました。この日の絶好調はオブザーバーの高田さんで、テンパイの早さで皆を圧巻、連覇となりました。2位は、ねばりの麻雀で木本君、3位は安定した麻雀の笹野君でした。

次回例会は、第3木曜日がクリスマス例会と重なりましたので、12月7日(木)18時より麻雀マックでの開催となります。よろしくお願いいたします。

● 会員記念日



奥様お誕生日おめでとうございます。

(4名)

土井(英)君	まり夫人
瀬崎君	由香夫人
香川(浩)君	淳子夫人
上野(純)君	和枝夫人



10月決算月おめでとうございます。

(3名)

鈴木君	ブルデンシャル生命保険㈱ 広島支社第三営業所
亀田君	東洋設備工業㈱
下岡君	㈱下岡タイヤ産業



● スマイルボックス SAA 西原君

森脇君 (自主申告・金一封)

11月16日住吉神社では大注連縄しめなわが奉納されました。拝殿に取り付けられた大注連縄しめなわは、安芸太田町の有志で作製された長さ7m、重さ約400kgというものです。コロナ禍などの影響により、取り換えは8年ぶりとなります。

NHKテレビ(全国放送)、広島テレビ、広島ホームテレビ、TSSなどでニュース放送され、読売新聞、毎日新聞に記事が掲載されました。

新しい年が清々しく迎えられることを祈念し、出宝いたします。

紫友会 優秀成績の皆さん

11月25日(土)芸南カントリークラブで、今年度第5回目の紫友会が開催されました。優勝の西原君はシニア優勝・バスグロと併せてフォース。準優勝の中岡君、3位の土井(隆)君、ブービー賞の梶本君も出宝をよろしくお願いいたします。

また、同時開催の3RC合同懇親ゴルフ準優勝長谷川(剛)君と3位の田島君、それぞれ出宝させていただきます。

中岡君

経済レポート(赤)11月21日号にナカオカさんが、美輝凛(びきりん(強く輝く美しさ))というコラムの第1回目に『金貨はセンチメタルバリューにもなる資産』と題し掲載されていました。

近年、負のイメージが強い世界情勢でも、世界で通用する資産として認識されているゴールドは、ひときわ輝いている存在です。有事が起これば金の価格は上がり、世間からの注目も高まるそうです。

欧州では、子供の誕生日のたびに金貨を買い、当時の子供の写真とともにアルバムに収め、大人になったらそのアルバムを渡す習慣があり、日本でもその風習が広がりつつあるそうです。

㈱ナカオカさんの「金貨」の益々のご販売促進、発展することを祈念しご出宝よろしくお願いいたします。

齊藤君

日成産業さんが中国新聞11月15日号の“中国経済・地場起業群像”に掲載されていました。

記事によると、ジュースの香料や製菓用のチョコレート、調味料など1万点に上る原材料を中国・九州地方の食品工場に卸売りし、そのほぼすべての商品はオーダーメイドに近いそうです。

今後は、大豆を使った代替え肉「大豆ミート」に注目していて、近年売上が伸びているそうです。斉藤社長は「自然に負荷をかけない食品への関心が高まっている。時代にマッチした商品を広めていきたい」と語っておられました。

● スマンボックス

● 瀬崎君、諏訪(浩)会長

11月28日なぎさ園でインクルーシブブランコの贈呈式が開催されました。

広島西RCからは諏訪(浩)会長をはじめ15名が出席しました。その際、担当である地域・環境委員会委員長の私(瀬崎)がロータリーバッジ着用を忘れてしまいました。私のロータリアンとしての意識の低さからくるものであり、深く反省しております。

なお、記念撮影用にロータリージャンパーの持参をお願いしておりましたが、諏訪(浩)会長が忘れていたことも、あわせて報告させていただきます。

● 卓話予告

日時	テ ー マ
12/14(木)	<ul style="list-style-type: none"> ● 年次総会 ● 「女と男の性ホルモン」 井原 俊彦 君



本日は100万ドルの食事例会です



■ 卓 話

笑って師走を迎えましょう！



落語家 ジャンボ衣笠 氏

ジャンボ衣笠さんの紹介

プログラム・出席委員会 南條副委員長

本日のお笑い卓話講師、ジャンボ衣笠さんをご紹介します。

1949年(昭和24年)、呉市でお生まれになられ、皆実高校サッカー部OB、広島商科大(現広島修道大)卒だそうです。

落語の世界には、38歳の時、当時勤務していた呉信用金庫のお客様との旅行で披露したネタが受けに受けたのがきっかけだそうです。芸名の由来は、本名が尾崎ということで、当時一世を風靡していたプロゴルファーのジャンボ尾崎と、カーブの衣笠からあやかったということです。

舞台以外の活動では、14年前から広島で開催している「ジャンボ衣笠と行くバスツアー」は、大変好評で、毎回満員御礼。また9年前からは呉の中学で、文化庁の「文化芸術による子供育成事業」として、年に3回の授業で落語を教え、生徒たちは文化祭で落語を披露するなど、文化教育で落語の普及にも取り組まれています。80歳まで落語をするのが目標ということです。それではジャンボ衣笠さん、広島弁爆笑落語、よろしくお願いたします。



(公財) 広島市文化財団文化活動助成事業

落語とクラシック音楽の巨匠達

落語家ジャンボ衣笠が、書き下ろした創作落語とクラシック音楽
(フルート、ピアノ、マリンバ・パーカッション、クラリネット)の
全国的にも珍しいレアコラボ企画です

舞台は 18 世紀、クラシック音楽のマエストロ
(巨匠) 協会のバッハ会長の後釜を選ぶ選挙会
場。新会長に立候補したのはモーツァルトとベ
ートーヴェン。

そこに令和の時代からタイムスリップした男子
高校生、そのおばさん、お婆さんの三人が巨匠
に絡んで繰り広げる笑いもふんだんに入ったコ
ミカルなジャンボ衣笠のオリジナル創作落語で
す

●挿入曲「ブランデンブルク協奏曲」「G 線上の
アリア」「運命」「英雄」「悲愴」「アイネクライ
ネナハトムジーク」「トルコ行進曲」



愛音の会

平成元年結成 定期演奏会をはじめ呉市・広島県内で「くれまちかどコンサート」「音楽の花束」「ランチタイムコンサート」などの幅広い音楽活動を行っている



田村智早
(ピアノ)

吉田亜希子
(マリンバ・パーカッション)

宮原律
(フルート)

武安宏子
(クラリネット)



特別ゲスト

秋風亭てい朝

ジャンボ亭ばずーか

令和6年2月11日(日)

開場 13:00 開演 13:30 終演予定 16:00

会場: 広島市南区民文化センタースタジオ

前売・予約 1,500 円 当日 2,000 円

番組

(全席自由席)

※未就学児童の入場はご遠慮ください

主催: 広島で落語を愉しむ会

問合せ・予約: 090-3636-0272(尾崎)

usaginokoubutujyonn@yahoo.co.jp

販売: 広島市南区民文化センター

一人コント「オペラ歌手の休日」	ジャンボ亭ばずーか
落語「赤とんぼ」(桂三枝作) 愛音の会伴奏	ジャンボ衣笠
落語「君よ、モーツァルトを聴け!!」(桂三枝作)	秋風亭てい朝
仲入	
愛音の会演奏 ヴィヴァルディ:「四季」より『冬』第二楽章 他1曲	
落語「母の日」(秋風亭てい朝作)	秋風亭てい朝
落語「落語とクラシック音楽の巨匠達」(ジャンボ衣笠作)	ジャンボ衣笠

【後援】 呉信用金庫、(公財) 呉市文化振興財団



例会日・木曜日 12:30~13:30
例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
会長 諏訪 昭浩
幹事 吉田 大蔵

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
リーガロイヤルホテル広島13F
TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
E-mail: hwrc@godorc.gr.jp

作成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC

検索 